



## ストップ高齢者虐待！ 守れ母子家庭！

民主・区民会議

松田 哲也 議員

**〈予算の編成等〉** (1) 3年半余にわたる青木区政をどう総括しているか。

(2) 予算案編成にあたり、引き続き区政を担っていくつもりがあるか。

**区長** (1) 区民の期待におおむね応えられたが、残された課題もある。

(2) まだ目標を実現する途上であり、再度区民の負託を受け、次年度以降の予算を責任を持って実施したい。

**〈母子家庭支援〉** (1) 就労支援の昨年度利用実績はわずか数件だが広報は充分か。(2) 常用雇用転換奨励金の利用実績はゼロだが、この制度の使い勝手や必要性をどう考えているか。(3) 既に85%が就労している実態を鑑みると就労支援より手当てカットの「廃止」だ。目黒区の受給者への影響はどうか。

**区長** (1) 区報や母子相談等で、事業を紹介している。毎年利用実績はある。

(2) 制度運営が難しく、この事業は実施していない。(3) 家庭の収入に影響があるが、児童扶養手当の見直し等は国の法令で規定されているため、今後の推移を見守りたい。

**〈高齢者虐待予防〉** (1) 養護者を加害

者にさせない支援体制は確立しているか。(2) 「高齢者虐待防止・養護者支援法」の広報は充分か。見守りネットワークで見守っている高齢者はわずか13人だが、認知症サポーター等も動員した発見システムの拡充・確立が必要ではないか。(3) 関係機関との連携体制は確立しているか。職員の専門性は低くないか。

**区長** (1) 保健相談業務や介護教室等で養護者の負担軽減を図っている。

(2) 法施行にあわせ区報、パンフレット配布で区民等へ周知を図った。早期発見には地域のネットワークの構築が課題であり、検討を進めている。

(3) 緊急性の判断等に専門家の助言が有効なため、連携の検討を進めている。通報等には保健師等専門職が対応し、今後も業務能力の伸長を図っていく。

**〈投票率アップ〉** 防災放送を使った呼び掛けは、費用対効果が高いと考えるが、今後実施していく予定はないか。

**選挙管理委員会事務局長** 過去に中止した経緯を踏まえ、今後の検討課題とする。